カンボジア農村体験 スタディツアー参加者募集

IVYの活動地・カンボジアの東南部のスバイリエン州と世界遺産アンコールワットを訪れます。現在実施中のIVY野菜の流通システム構築プロジェクトの視察、IVYが支援する女性組合のインタビューなど、NGOによる草の根の支援事業を直に見ることができます。また農家へのホームステイ、小学校訪問もあります。

書き損じハガキと、使用済みインクカートリッジを集めています。

ご家庭に、書き損じハガキやプリンターの使用済みのインクカートリッジはありませんか？ IVYが業者を通じて現金に換え、活動資金の一部として使わせていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

詳しくは IVY ホームページをご覧ください。**http://www.ivyivy.org**

会員種別 年会費

- 企業正会員／一口 30,000 円
- 企業賛助会員／一口 10,000 円
- 個人正会員／一口 10,000 円（学生／ 3,000 円）
- 個人賛助会員／一口 3,000 円（学生／ 2,000 円）

お振込み先

- **郵便振込**　口座番号：02290-2-85967　加入者名：IVY
- **銀行振込**

銀行 / 支店 ・・・山形銀行 寿町支店
口座番号 ・・・・ 普通預金 366153
口座名 ・・・・・ 特定非営利活動法人
国際ボランティアセンター山形 代表理事 枝松直樹

会員特典

会員特典	企業正会員	企業賛助会員	個人正会員	個人賛助会員
総会の議決権	○	×	○	×
会費の寄付金控除	△*	○	△*	○
IVYホームページへの掲載・リンク	○	3口以上	×	×
機関誌に企業名を掲載	毎号	入金月	×	×
機関誌の定期購読	○	○	○	○
会員の集いへの参加	○	○	○	○
IVY主催の講座・学習会参加（一部有料）	○	○	○	○
カンボジアスタディツアーへの参加	○	○	○	○
アジアの手工芸品・食品が定価の2割引	○	○	○	○

＊ 賛助会員の会費は寄付金控除が適用されます。(3,000 円以上)
正会員の会費は２口目以降から寄付金扱いとなります。

今年IVYは はたちになります

IVYは皆様のご支援のおかげで、2011年12月８日に設立20周年を迎えます。これからも精力的に活動を進めて参りますので、IVYをよろしくお願いいたします。

20th

IVYは東北の「NGO 相談員」です。

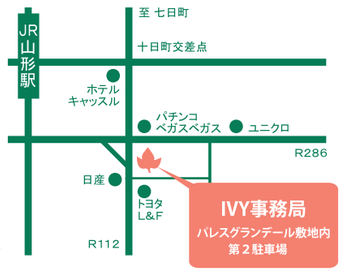
「NGO相談員」制度は、外務省から委託され、国際協力活動やボランティア活動、途上国の現地情勢など、NGOに関するさまざまな質問や相談を受けつけるしくみ。どなたでもご利用になれますので、お気軽にご相談下さい。

認定ＮＰＯ法人 国際ボランティアセンター山形

〒990-2432　山形県山形市荒楯町 1-17-40
TEL : 023-634-9830　FAX : 023-634-9884
E-mail : ler04525@nifty.com　URL : http://www.ivyivy.org

IVY　山形　検索

2010/7/16



あなたが、世界と未来をむすぶ

会員のご案内

International Volunteer center of Yamagata

認定ＮＰＯ法人
国際ボランティアセンター山形

IVYは国税庁長官認定の **認定NPO法人** です。ご寄付には税金優遇制度があります。

地球規模で考え、足元から行動しよう！

山形という地方を拠点として**世界**の問題と関わり、**世界**の全ての人々が**人間**らしく生きることができる**社会**を目指しています

活動理念

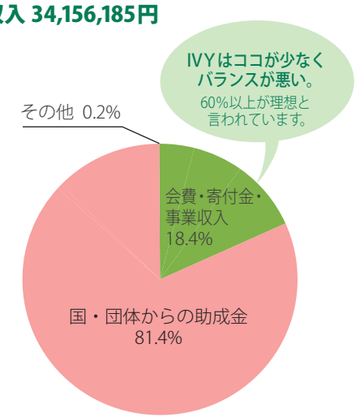
1. 地球市民としての自覚を持ち、足元から行動する
2. 人種、性別、宗教、個性などの違いを認め、地域独自の知恵と多様な文化を尊重し、積極的に活動に生かす
3. 経済、社会、人権の平等を求め公正な社会の実現に努める
4. 人々の持つさまざまな可能性に期待し、新しい価値観の創造をめざす
5. ボランティア活動を自己研鑽の場ととらえ、活動で得た経験や知識を個人、家族、職場、地域に還元する
6. 持続可能な地球環境を守るため、環境の保全、有機農業、リサイクル活動を支援し、循環型の社会作りをめざす

活動のあゆみ・受賞暦

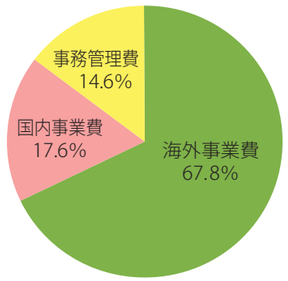
1991 年　タイ国境のカンボジア難民キャンプをスタディーツアーで訪問
1991 年　**JVC山形として発足。**在住外国人への支援を開始
1993 年　カンボジアの支援を開始
1995 年　フィリピンへの医療支援を開始 (～ '00)
1997 年　国際理解教育を開始
1999 年　**IVY（国際ボランティアセンター山形）に名称変更**
NPO法人の認証を取得
カンボジアスバイリエン州への支援を開始
2000 年　東ティモールへの医療支援を開始 (～ '02)
外務省 NGO 相談員（東北ブロック）受託開始
2008 年　**国税庁の認定NPO法人資格を取得**

収支 （2009 年度 4 月～ 2010 年度 3 月）

収入 34,156,185円



支出 32,567,985円



主な助成金

外務省／（独）国際協力機構（ＪＩＣＡ）／（独）国立青少年教育振興機構／旧郵政省国際ボランティア貯金／三菱国際財団／庭野財団／地球市民財団／山形県／山形市／荘内銀行／（財）山形県国際交流協会／（特活）国際協力ＮＧＯセンター／連合

受賞

山新３Ｐ賞平和賞 ('96)
阪神淡路大震災医療保健活動厚生大臣感謝状（'96）
国際交流基金地域交流振興賞（'97）
環境やまがた大賞 ('09)

皆さまの会費は、IVYの支援活動や運営に大切に使わせていただきます。

ＩＶＹの活動１

多文化共生社会をめざして山形に住む外国出身者をサポート。

山形県に住む外国人は2009年度末で6,848人に上ります。（内、80%は女性）また、外国人登録者に占める国際結婚率の高さで全国に知られています。IVYでは、外国出身者にもやさしい多文化共生の社会をめざして、1991年から**日本語教室、医療通訳、7ヶ国語による電話相談等**を行っています。2009年度からは**就職セミナー**も開催しています。

NPOとは
Non Profit Organization

ボランティア活動などの市民活動を行う、営利を第１の目的とせず、利益の配分も行わない団体の総称です。うち、法人格を持つ団体が、NPO法人です。

ＩＶＹの活動２

カンボジアの農村で貧困削減に取り組んで10年。相互扶助組織を立ち上げから、農産物の販売支援も行っています。

ホームレス多発の最貧困地帯として知られるスバイリエン州で、「農民のホームレス化を村で食い止めたい」と内戦終了間もない1999年から活動しています。政府も農村の貧困削減に取り組んでいますが、農民が80%と数が膨大なため、多くの国際機関やNGOも共同で取り組んでいます。

IVYは、カンボジアで初めて村の女性に焦点を当て、村ごとに組合を設立していきました。「女性組合」と呼ばれているこの組織は、「米銀行」「家畜銀行」などを通じて、貧しい人の借金が減るなど村の貧困削減に貢献し、村人から信頼される組織に成長しています。

また、農家の収入を増やすため、野菜の栽培指導だけでなく、出荷組合を組織し、大口の取引先へも安定供給できる生産体制や、流通システムづくりを行っています。1村から始めた活動も、今ようやく60村。しかし、州内の約690ある村に広げるには、まだまだ遠い道のりです。

ＩＶＹの活動３

子どもたちに国際理解や地球を守るココロを―

● 学校出前講座

地球上で起こっている様々な問題に関心を持つことを地域の方々に呼びかけていきたいと考え、学校の授業や企業の研修会でワークショップを行っています。

● ファシリテーター養成講座

国際理解教育や環境教育の指導者を養成しています。

ＩＶＹの活動４

東北の大学生たちが国際協力にチャレンジ！「IVYyouth」

この東北にもグローバルな視野を持った人材を育てる「ふ化器」を作ろうと、2010年４月、IVYの青年組織が発足しました。現在、宮城県や山形県をはじめとした東北各地の大学生を中心に若者40名程が集まり活動をしています。

メンバーは、国際協力**「カンボジア教育支援プロジェクト」**、小学生向けの環境教育イベント**「地球子どもキャンプ」**、その他途上国の現状について学ぶ月一回の学習会など、学び合いながら日々実践を重ねています。

IVYyouthへの参加資格は、義務教育を修了した15歳～29歳です。

事務局

これらの活動を裏で支える事務局活動（広報、ファンドレイジング、会計、会員管理他）にも、会費を有効に使わせていただいております。